

## マネージメント情報

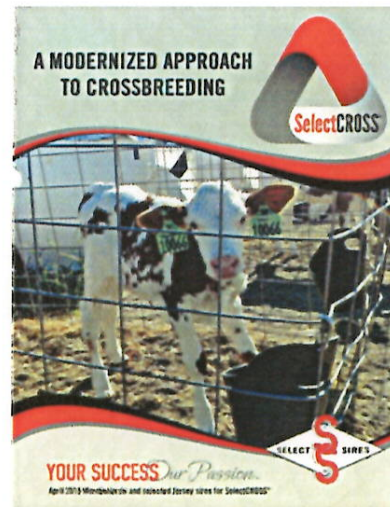
### ※CrossBreeding について

5/29 に根室管内農協組合長会主催のクロスブリーディング講習会が中標津のしるべつとで開催されました。今回はフランスのモンベリアル種精液販売会社 Coopex 社から講師を招いてモンベリアル種の特徴とホルスタイン種×モンベリアル種の CrossBreeding の話でした。今回は ProCross の交配プログラムでのこの先のローテーション授精になるバイキングレッドの精液の輸入条件がクリアされていないので話の内容がモンベリアル種のみで、Coopex 社のコマーシャルになってしまった感は否めませんでした。搾乳牛としてのクロスブリーディングの優位性は多少は伝わったかなと思います。

そんな中、皆さんご存じのアメリカの精液会社 Select Sires が SelectCROSS というホルスタイン種♀×ジャージー種♂(F1)にモンベリアル種♂を掛け合わせた(F2)にホルスタイン種♂を掛け合わせた ProCross と同様のローテーション交配のプログラムを発表しましたの紹介します。

### <SelectCROSS>

目的は体型を小さくして(moderate size)維持コストを下げて乳成分を上げる(×ジャージー種♂)。その次に難産難易度を下げ、健康形質を上げるために(モンベリアル種♂)を授精して、再度産乳能力を維持するために(ホルスタイン種♂)を授精して、上記ローテーション交配を続けるということになります。ちなみに SelectCROSS の場合モンベリアル種の精液は別のフランスの精液会社の Jura-Bétail 社からとなります。これも様々なオプションのひとつなのかとは思いますが少々驚きです。



<http://www.selectsires.com/programs/selectcross/menu.html?version=20170404>

<https://www.facebook.com/SelectSires/videos/10156313879709133/>

SELECT SIRES

News Contact Us Careers About Us Employee Login

HOME DAIRY BEEF DESIGNATIONS PROGRAMS PRODUCTS STORE RESOURCES GENERATIONS

Select Reproductive Solutions (SRS) Select Mating Service (SMS) Strata-DSM Program for Genetic Advancement (PGA) SelectCROSS

Breeding to Feeding

GETTING STARTED

GENETIC PARTNER

RECOMMENDATIONS AND BACKGROUND

COMMITMENT BEHIND THE PROGRAM

REQUEST MORE INFORMATION

SELECTCROSS VIDEOS

SelectCROSS™

**A Modernized Approach to Crossbreeding**

For several decades, dairy owners in the U.S. have attempted to utilize crossbreeding with their Holstein cows. They have been hoping to harness the effects of heterosis to reduce the mature size of the cow in order to reduce maintenance costs and improve reproductive efficiency, calving ability, fitness and longevity. The goal of any managed dairy crossbreeding program should be to

## <ProCross のオスの特徴>



日本国内では乳用種のお子牛はホルスタイン種やホルと和牛の F1 以外のジャージー種やブラウンスイス、その他クロスブリーディングのお子牛は一般的には値段がつきません。

ホルオス子牛の価格は一時キロ単価 3,000 円台という時もありましたが現在は 2,700 円前後で CrossBreeding のお子牛その差は 13 万～15 万円前後にもなります。

もっとも現在の価格は異常で一般的な適正価格はキロ単価 1,000 円前後(生体で 5 万円)ではないでしょうか。

今回は ProCross のオスについてアメリカ(カリフォルニア州)の状況を紹介します。

写真は 6 ヶ月齢のプロクロス去勢牛(300kg)です。ProCross を考案しました Creative Genetics 社の Mike Osmundson さんがおっしゃるには増体・歩留まりの両方ともに ProCross の方がホルスタイン種より勝っているということです。

DG はホルスタイン:1.16-1.3kg に対し ProCross は 1.47-1.51kg で歩留まりはホルが 58-59%で ProCross は 62.5-64%とのことです。また肉質もホルスタイン種よりも脂が多くアンガス種に近いそうです。また、ProCross の牛は丈夫なのでアメリカの場合に農場からと畜場への数百キロに及ぶ輸送のストレスにもホルスタイン種よりも影響を受けないようで、体重の減少が少なくその分でもホルスタイン種より高く取り引きされるそうです。

しかし、ここはアメリカではなく日本なわけで、実際のところ ProCross のお子牛や廃用牛にこのような評価を得ることができるかどうかは不明(かなり否定的)ですが、現在様々な伝手を使ってアメリカのような評価を得ることができないか調査中です。

もう一つの CrossBreeding の大きな問題としてメスの価格があります。初妊牛も初生メス・育成牛メスも現在はバブルですが果たして CrossBreeding の評価がどの程度対抗できるのか?ということも大きな課題であることは間違いありません。

.....  
・先月末よりホクレン刈子府実証農場でホルスタイン種♀×モンベリアル♂の F1 が誕生し始めました。今後は来年春に授精し早ければ再来年に搾乳牛(F1)としての実証試験が始まると思います。その後再来年に生まれるであろう F2 が搾乳できるまでもう 2 年かかり合計 5 年、乳量の結果がさらにもう 1 年必要になります。6 年後です。

・先月弊社の顧客の中標律の希望農場、そして中春列の中山農場さんの搾乳ロボット牛舎が完成しました。希望農場さんは日本(アジア)初のロータリーパーラーの搾乳ロボット中山農場さんは VES の PPF 方式を取り入れた最新式の換気システムを導入されました。了解を得られましたら進んで紹介していきたいと思っています。

・例年どおり一番草の刈り取りが始まります。先週は暑いくらいでしたが先週末より気温が下がり昨日からの強い雨もありました。恵みの雨になりますようにと思っています。くれぐれも無事に一番草の収穫作業が終わりますようにと願っています。